みらいDaily News

2026年10月15日（木）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日本のGDPが世界6位に、インドと英国に抜かれる 27年IMF見通し

・国際通貨基金（IMF）は日本の名目GDP（国内総生産）が2027年にインドと英国に抜かれ、世界6位に転落するとの見通しを示した。円安によるドル換算額の目減りや成長の鈍さが響く。日本は10年に中国に抜かれ、世界2位から3位に後退した。23年にはドイツに抜かれて4位となっていた。

◆AI、家電乗っ取り増殖の恐れ アンソロピック「デジタル粘菌」と警告

・米アンソロピックは人工知能（AI）がインターネット接続するテレビなどのスマート家電を乗っ取り、自ら増殖する能力を持つ可能性があると警告。無数の機器に「粘菌」のようにAIが広がれば、セキュリティーリスクを生むと指摘。同社でAIの安全対策などに取り組む研究者らがブログで発表した。

◆7～9月GDP予測、実質0.08%増に下方修正 日経センターまとめ

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると7～9月期の実質GDPの予測の平均は前期比年率で0.08%増。前回9月調査の0.25%増から下方修正。項目別では個人消費の予測平均が前期比0.04%増、設備投資が0.95%増だった。輸出は0.00%増と横ばいで、輸入は2.01%増を見込む。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆石炭が年初来4割高 ガス急騰で進む代替、世界需要は最高更新へ

・発電用燃料に使う石炭の価格が高値圏に。中東危機に伴う天然ガス高を背景に需要が過去最高水準を維持するなか、主要産炭国オーストラリアでの鉱山開発規制やインドネシアの輸出抑制などが重なり、将来的な需給逼迫への警戒が強まっている。日本などアジア市場の指標となる豪州産の高品位石炭の価格は中東情勢の悪化以降、上昇基調が続く。

◆鋼材や紙の国内価格、10～12月上昇へ 需要低調でも中東発コスト重く

・中東情勢の悪化した状況が長引き、産業資材の国内取引価格に上昇圧力がかかったままになっている。10～12月期は主要12品目のうち鋼材や印刷用紙など4品目の値上がりが予想される。国内需要は鈍い品目が多いが、産業界はコスト転嫁の負荷が依然重い。日本経済新聞は素材メーカーや商社に価格見通しを四半期ごとに聞き取り調査。

◆建設業倒産1071件、4半期連続で1000件超 TDB上半期集計

・帝国データバンクが発表した2026年度上半期（4～9月）の全国企業倒産集計によると、建設業の倒産件数は1071件となり、前年同期比5.7%増加。主要7業種の中ではサービス業（1440件）、小売業（1131件）に次いで3番目に多く、4半期連続で1000件を超えた。全国の倒産件数は5362件で前年同期比4.2%増。2021年度下半期以降10半期連続で増加。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック 縦2本の光で視認性確保、洗面化粧台

・必要な性能を維持しつつ約10%の値下げを実現した洗面化粧台「ウツクシーズSE」を発売。光を縦方向に広げる特許技術「ツインラインLED照明」を採用。鏡の両側に配置した縦2本の光が顔全体や手元を明るく照らす。顔や手元に影ができにくく、メイクやひげ剃りの見やすさを確保。



■永大産業 造作風洗面に「縦照明タイプ」「ハイバックベッセルボウル」

・インテリアに馴染む造作風洗面「アクアージュsai」「アクアージュフロート」に新アイテムを追加。新たに、「アクアージュsai」「アクアージュフロート」には「縦照明タイプミラーキャビネット」を、「アクアージュsai」には「ハイバックベッセルボウル」をラインアップ。



■LIXIL、エクステリア提案強化へ 新展示で自然とつながる暮らし体感

・LIXIL東京エクステリアショールームの一部をリニューアルし、新たな屋外展示スペース「EXSIOR GARDEN（エクシオール ガーデン）」と屋内打ち合わせブース「UCHISOTO LOUNGE（ウチソト・ラウンジ）」を開設。庭や外構を含めた住まいづくりの魅力を体感できる空間として刷新。

